

資料1-3

## 在宅医療の未来を考える 映画「ピア～まちをつなぐもの～」

## 上映会 &amp; シンポジウム アンケート集計結果

令和元年11月17日

※当日来場者数：160名、アンケート回収数：89枚

アンケート回収率 55.6%

1. 年齢		実数	%
1	20歳未満	0	0.0%
2	20代	3	3.4%
3	30代	14	15.7%
4	40代	16	18.0%
5	50代	34	38.2%
6	60代	9	10.1%
7	70代以上	13	14.6%
0	不明	0	0.0%
合計		89	100.0%

2. 性別		実数	%
1	男	26	29.2%
2	女	62	69.7%
0	不明	1	1.1%
合計		89	100.0%

3. 職種		実数	%
1	地域住民等	16	18.0%
2	民生委員・町内会関係者等	2	2.2%
3	医療職	34	38.2%
4	介護・福祉職	30	33.7%
5	その他	7	7.9%
0	不明	0	0
合計		89	100.0%

4. 理解度		実数	%
1	分かりやすかった	58	65.2%
2	まあまあ分かりやすかった	21	23.6%
3	よく分からなかった	1	1.1%
4	まったく分からなかった	0	0.0%
0	不明	9	10.1%
合計		89	100.0%

5. 満足度		実数	%
1	分かりやすかった	47	52.8%
2	まあまあ分かりやすかった	29	32.6%
3	よく分からなかった	2	2.2%
4	まったく分からなかった	1	1.1%
0	不明	10	11.2%
合計		89	100.0%

6. 看取りを経験したことがありますか		実数	%
1	はい	52	58.4%
2	いいえ	35	39.3%
0	不明	2	2.2%
合計		89	100.0%

## 7. 人生の最期をどこで迎えたいか？（複数回答あり）

【自分】	実数	%	※その他意見
1 自宅	57	62.6%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・病名やその時の家族状況で考えたい</li> <li>・わからない</li> <li>・どこでも良い、家族がいてほしい</li> <li>・特にこだわりはない</li> </ul>
2 病院	16	17.6%	
3 介護施設	5	5.5%	
4 その他	10	11.0%	
0 不明	3	3.3%	
合計	91	100.0%	

【家族】	実数	%	※その他意見
1 自宅	57	62.6%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2, 3以外。本人の望む所</li> <li>・好きなところ、望んだところ</li> <li>・本人にまかせる</li> <li>・その時の状況で考えたい</li> <li>・特にこだわりはない</li> </ul>
2 病院	13	14.3%	
3 介護施設	3	3.3%	
4 その他	10	11.0%	
0 不明	8	8.8%	
合計	91	100.0%	

## 9. 意見・感想

- ・ 多職種連携は大切なんだなあとあらためて思いました。
- ・ 本人の意思と家族の本人に対する思いをどう調整したらよいのか。サービスを押しつけるようなこともどうかと思うし何もしてあげないのもつらい。
- ・ 安城市の専門職の皆様が前向きに看取りにつきあっていることがよく分かりました。

## 8. 今後、講演会で聞きたい内容（複数回答あり）

8. 今後、講演会で聞きたい内容（複数回答あり）	実数	%
1 健康維持・増進	18	15.3%
2 介護予防	24	20.3%
3 認知症	34	28.8%
4 シニアライフ	3	2.5%
5 人生の最期	37	31.4%
6 その他	2	1.7%
合計	118	100.0%

(% = 実数/アンケート回収数)

- ・ 実事例を通して在宅の医療を各職種が参加して話し合うことができ良かったと思います。
- ・ いろいろな立場の方からの話をきけて良かった。安城には在宅に力を入れているDrがたくさんいて良いと思った。
- ・ 各職種の方が働いている画像が出るともっとわかりやすいのではないかと思います。（訪問入浴や介護タクシーなど）
- ・ いろいろなことを耳にしても認知や終末が来た時にはいざ何をどうして行動すれば良いのかとまどうかなと！
- ・ チームを作って計画的な介護をされる事を知りました。ただ、これから老人が多くなり若い方が少ないから病人にもこれだけの手が掛けられるかと思いました。歯科の方もチームにおられることを知りました。心強いと思いました（老人がゆえに！）。薬剤師の訪問もあることを知りました。
- ・ 在宅の選択肢、今回経験するまで知りませんでした。市民に発信されるとよいと思いました。ありがとうございました。
- ・ 当事者と家族と一緒にケアについてオープンに考える機会があるのはありがたいです。今後定期的にあると良いのではと思いました。一般市民にとって気になる時に参加できるタイミングがあると考えやすいと思いますし、多職種の連携や勉強会の機会に一般市民の席もある（映画にもありましたが）というのも良い機会でありがたいと思いました。
- ・ 在宅医療などについて地域医療のことが知れてよかったです。
- ・ 「生きる＝生ききる」ために心のケアが大切でそのために多くのスタッフが関わっていることを知りました。
- ・ 大変良かったです。
- ・ 在宅医療の実現がより身近に感じられるようになりました。安城市でもしよみの充実、進化に力を入れてほしいと思います。特に終末期のケア（ホスピスのようなもの）のあり方をサポートするしよみの充実、進化を望みます。サルビー見守りネットの中身を教えてください。どのように利用すれば良いのか全く解りません。説明書（システムの使い方）はありますか？
- ・ シンポジウムの意図がよくわからなかった。一般市民の方にはわからない言葉がかなりあったと思いました。
- ・ シンポジウムのテーマが不明。